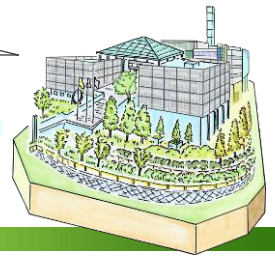


しみんけんきゅうニュース



発行:(公財)千里リサイクルプラザ 市民研究所 〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園4-3
TEL 06-6877-5300 FAX 06-6876-0530 <http://www.senri-recycleplaza.or.jp/>

【目次】

P2-3 エコ体験 PT からの発信
P4 市民研究員研修講座
P5 施設見学後の体験活動
P6 施設案内員募集

P7 ぐるぐる環境スクール クッキング
P8 ぐるぐる環境スクール 里山見学
P9 ぐるぐるエコキッズフェスタ
P10 7・8 月の予定



破碎工場の見学



エネセンの見学



カン分別の現場見学



紙すき・木工体験



子どもたちは施設見学
や紙すき・布工房等での
体験学習を行います

資源循環エネルギーセンター(エネセン) および
資源リサイクルセンター(破碎工場・プラザ)では
小学生および一般の施設見学を実施しています



エコ体験 PT からの発信

エコ体験 PT 生野 俊介

エコ体験 PT は小学生への環境学習支援活動を行っています。主としてクラブ活動の時間に外部講師として担当します。児童は4年生から6年生の混成で異学年交流となっています。教える講座は4つあり、①紙のリサイクル体験講座②水の大切さを実感する講座③地球に優しい行動を考える講座④地球に優しい電気の講座、となっていますが、この機会に上記のうち②及び③の講座内容の詳細をご説明し、ご理解頂きたいと思います。

1. 水の大切さを実感する講座（水の話）

この講座の目的は、①日本が水に恵まれた国であることを理解する②私たちが使う水がどうやって出来るかを理解する③森と川と海のつながりの重要性を理解することに加え、近年地球規模の問題となっているマイクロプラスチックによる海洋汚染問題を取り上げ、できるだけ今日的な課題の理解を得ることに努めています。このプラスチック問題の説明は以下のとおりです。

プラスチックを食べるウミガメ



図-1 marineplastic.net

海で起きている現象、海の生き物がプラスチックによって死んでしまうケースが起きていることを理解してもらいます。



図-2 search yahoo.co.jp

次に、海にプラスチックが入り込み、マイクロプラスチックになる過程をイラストで説明します。

我々が街で使ったプラスチック類が風雨で川に流されて海に入り込む頻度が高く、それが日光などで劣化して小さなプラスチック片となり魚類の体内に入ってしまう。つまり、私たちの不注意がプラスチックを海に流れ込ませてしまうケースがとても多いことをしっかりと理解してもらいたいと思っています。現実には、海のプラスチックの6-7割がこういった入り込み方をしていると言われています。最後に、世界的にプラスチック類の使用を抑える動きが出ていることを図-3で示している通り子ども達に説明をしています。

プラスチックストローを使わない運動口が世界で広がっている口



図-3 sustainable japan.jp

説明を受けて、ある児童は「この問題はテレビで見ただけで知っていたけど、自分たちにはできないことはない、と思っていた。でもかなりできる事が有ると分かった」との感想を述べていたのが印象的でした。次に、講義の後、「利き水体験」をして貰います。水道水と市販の天然水を楽しそうにお代わりをしながら味比べをします。結果的には大概「天然水が美味しい」となるのですが、大切なのはこの後の説明です。

①味②安全性③価格④エコ度の4点で比較すると、

味 : 天然水 > 水道水
安全性 : 天然水 = 水道水
価格 : 天然水 = 水道水 × 200倍

味は、利き水での子ども達の間での感覚、安全性は講義の中で日本の水道水の安全性は世界一、と説明しています。水道水価格は自宅での水道料金+下水料金との比較ですが、天然水が水道水の約200倍の価格であることに子ども達はびっくりします。最後にエコ度の話ですが、天然水は容器としてペットボトルが必要で原料に石油を使い、リサイクルが必要なこと、場合によってはペットボトルが川から海に流れ込んでしまうことなどから

エコ度：天然水<水道水 となります。

全体で考えれば天然水よりも水道水を使用することが環境に優しいことを訴えています。

最後に子ども達へのアンケートを行い、水を大切にするために自分でできることを書いてみようとの投げかけを行って終了します。アンケートにかなり手ごたえのある回答が見受けられるのは嬉しい限りです。

私たちも、熱中症予防のためにもマイボトルを持って水道水を飲みましょう！

2. 地球に優しい行動を考える講座 (エコゲーム)

この講座は私たちが日常生活の中でとりがちな行動例を挙げて、それが、

- ① 地球に優しい
- ② 地球に優しいがお金はかかる
- ③ 快適だが地球には悪い
- ④ 地球に最悪

のうちのどれに当てはまるのか、を班ごとに子ども達が討議し、結論を出して、発表するゲーム形式の授業です。

以下行動例と回答例を示してみます。(回答は上記①から④で、後の文章は選んだ理由です)

ア)「私はいつも地元の野菜を買っています」

①地元の野菜を買うと地産地消になる。遠くから運ぶ手間もエネルギーも不要

イ)「私は自動車を電気自動車に買い換えました」

②電気自動車は使用時にCO₂を出さない。でも価格は高い

ウ)「私は釣ったブルーギルを池に戻しました」

④ブルーギルは外国から入ってきた外来種で、日本固有の魚を食べてしまう。

エ)「私は家に緑のカーテンを作りました」

①緑のカーテンは部屋の温度を2-3℃下げ、エアコンを使わずに済むこともある。

オ)「私は近いところは自転車か徒歩で行きます」

①自転車や徒歩ならCO₂を一切出さない。

カ)「私は雨水を貯めて花の水やりに使います」

①or②雨水を使えば水道が節約できる。でも雨水を貯める装置がいる。

キ)「私は冷蔵庫が故障したので修理せずに新品に買い換えました」

②新しい冷蔵庫は省エネタイプで少しお金はかかるが電気を節約できる。

ク)「私は家に太陽光発電の設備をつけました」

②太陽光発電はエネルギーが無限だし安い。設備にはお金がかかる。

ケ)「私は家の蛍光灯をLED電球に替えました」

①or②LEDは蛍光灯に比べて値段は高いが長持ちするし、電力の使用量も少ない。

コ)「私は給食で嫌いなものは食べずに残します。」

④吹田市の家庭系ゴミのうち食べ残しが30%近くあります。残さず食べましょう。

さて、皆さんはどう答えますか？

この授業は、日常生活の中で地球に優しいことが何かを考えると同時に、お金はかかるが地球に優しいので行うほうが良いこと、自分には快適でも地球に悪いので我慢する必要があることなどを考えてもらうことを目的としています。同時に3～4人のチームで討論し、結論を出してみんなの前で発表するという経験してもらうことも大切と考えています。問題の後には「ヒント」を与えて考え易くする工夫も施しています。また、子ども達の発表の後には必ず我々講師側からコメントを出し、補足の説明をする様に心掛けてもいます。時として反論が挙がることもあり、考え方には色々有ることも学べると思っています。

問題(行動例)は難しいものではないと思うのですが、いざ発表の段となるとかなり子ども達は躊躇することが多く見受けられます。みんなの前で発表することが苦手なのですが、小学生のうちから慣れておいて欲しいと思っています。ある学校の6年生の女子のアンケートには、「みんなの前で自分の意見を発表するのはとても良いことだと思う」と書かれてあり、前向きに取り組んでくれる姿勢は大変嬉しく感じる次第です。子ども達に環境のことを種々教える立場にしながら、自分自身の行動は果たして地球に優しいのかどうか、時として振り返ってみることも必要で、私たち自身の反省材料にもしています。皆さんも、「その行動、地球に優しい？それとも・・・」さあ！考えましょう。

以上、2点の学習支援授業内容の詳細をご披露しました。子ども達が大人になった時、身の回りの環境のことに気を遣ってくれる様になることを信じて、今後も授業の改善を図りながら環境学習支援活動を継続していきたいと思っています。

令和元年度 第1回市民研究員研修講座

「吹田の環境教育」

吹田ごみ物語編集PT 茶園 征也

1 令和元年に入って最初の研修講座

令和元年5月18日(土)午後 プラザ講義室にて第1回市民研究員研修講座が開催された。

講師：下村研司氏(千里リサイクルプラザ)

氏は現在事務局として市民研究員の世話をされているが、昨年まで吹田市内の小学校の教職にあり長年環境教育に携わってこられた。

特に、「環境教育副読本」の制作・編集を平成5年から担当されたこともあり、講座はそれらの体験を踏まえたもので、今後の研究員による学習支援活動の参考になるものであった。



以下に研修の概要と感想を述べる。

2 研修内容の概要

(1) 吹田の環境教育の流れ

①副読本について

小学校用は、平成5年、平成6年に作成されその後作成されていない

②身近な環境調査

- ・タンポポ調査(1990, 1995, 2000) 36校参加
- ・大気汚染調査(1993)
- ・ツバメの巣調査(1994, 1997)
- ・セミのぬけがら調査(1996—)

③学校ビオトープづくり：10校参加

④環境学習発表会

- ・くるくるプラザと教育委員会の連携で今年21回目を迎えた。

(2) 環境教育に求められていること

①大切にしたいこと

- ・体験すること
- ・参加すること

②環境教育の目標

「環境に対する意識を持ち、行動できる人間を育てる」

(3) 環境学習支援におけるプラザの役割

①環境学習発表会

②授業プログラム(3時間)

- ・1時間目：事前の導入的な授業(担任)
- ・2時間目：体験活動(プラザ市民研究員)
- ・3時間目：事後のまとめの授業(担任)



3 講座を受講して(感想)

実際に小学校の環境教育に携わってこられた下村氏の話は、これからの市民研究員の学習支援活動の参考になるものばかりであった。

特に学習指導要領の改訂により、市民研究員の学習支援が「クラブ支援」より「授業支援」に重点を移行することになりそうな今、下村氏が提案された「授業プログラム(3時間)」を参考にしたい。

幸い、プラザ事務局には多くの小学校の教職経験者がおられるので、その意見を参考に各学校に適したプログラムの作成を各プロジェクトと協働して検討を進めてゆきたい。

施設見学後の体験活動

事務局 下村 研司

始業式の日・・・

4月8日（月）、吹田市立小学校36校から4年生担任の先生方が資源循環エネルギーセンター研修室に集まり、施設見学の抽選会が行われました。

吹田市では、4年生の社会科の授業で『わたしたちのまち 吹田・大阪』という副読本を使って学習しています。その中に「ゴミの処理とリサイクル」という単元があって、資源循環エネルギーセンターと破碎選別工場、くるくるプラザが紹介され、必ず学習することになっています。そこで、吹田市立小学校に通う4年生は、必ずくるくるプラザに見学に来ることになっており、年度初めの始業式の日に見学日の抽選を行っているのです。また、4年生の学習として本プラザを見学するのは吹田市の小学校だけではなく、近隣の茨木市や大阪市からも例年10校以上の見学があります。

施設見学後を有効に

子どもたちの見学スケジュールは、9時30分から12時まで資源循環エネルギーセンターと当施設を見学したあと、くるくるプラザか万博記念公園で昼食をとり、少し遊んだ後帰校するというのがよくあるパターンでした。

そこでせっかくプラザに来館してもらって、何か体験してもらうことはできないかと考え、昨年度より施設見学後の体験活動のプログラムを作り、各小学校（市内、市外を問わず）に紹介しています。その結果、昨年は7校、今年は10校がこの体験を実施、あるいは予定をしています。

体験は、工房体験として「木工」「布」、市民研究員による「紙すき」「おもちゃ作り」「ふろしき」と5つの体験を用意し、各学校の人数に応じて体験の数を決め、その定員の中で児童の希望を聞いて分けています。ただ、各体験の可能人数に限りがあるので、受け付けられるのは100名以下の学校のみになっており、平成31年度では吹田市立小学校全36校中12校が対象外となっています。

体験活動は昼食後の午後1時から2時までとなっています。授業支援やクラブ支援では45分単位の活動が基本なのですが、ここでは60分で余裕をもって活動に取り組んでいます。学校にトっては児童一人について2つの体験をすること
P5
ありました。

体験活動のようす

6月20日、吹田市立小学校の施設見学後の体験活動を見学しました。どの子どもたちも熱心に活動に取り組んでおり、「紙パックは、もう捨てられへんなあ」とか「木工、楽しすぎて帰りたくな



い！」といった声が聞かれました。また活動の終わりごろには、広場ではおもちゃ作りで作った十字プロペラを飛ばして遊ぶ子どもたちの姿も見られました。使った物をすぐに捨てないで何かに利用することが『楽しい』ということを少し感じてくれたのではないのでしょうか。

これからの取り組み

施設見学後の体験活動について、昨年よりも今年の方が先生方の反応も良く、学校へのアンケート調査でも概ね好評で、各小学校での認知度も上がっているようです。気になる点は「環境学習支援の内容として、効果的であった」の項目で肯定的ではない評価があり、この活動の位置づけを明確にする必要性を感じました。また、現在行っているクラブ支援や出前授業に加えて施設見学後の体験活動が増えることで、工房指導員や市民研究員の方の負担が増える懸念も考えられます。

これらの課題について、今後きちんと考えていく中で、この体験活動をできるだけ拡充する方向で考えていきたいと思っています。

2019年度

くるくるフラザ

施設案内専門員

募集

募集します



くるくるフラザ（吹田市資源リサイクルセンター）には毎年市内の小学校4年生をはじめ、学校・自治会・企業・行政・海外の団体など6,000人以上の見学があります。

「まぜればごみ、分ければ資源」この目的で全国で初めて作られた環境啓発施設がくるくるフラザです。見学者を引率し、施設の案内をして頂ける方を募集します。

より良い環境を子ども達や未来につなげていくため、あなたのお力をお貸し頂けませんか。

業務内容

1回 1時間～1時間30分程度の施設案内
初めての方も大歓迎です。（有償）

専門員になるには

- ① まずは施設見学をしてもらいます
- ② 施設見学についての研修受講
- ③ 先輩専門員と一緒に施設案内
- ④ 研修の成果を発揮する一人での施設案内

連絡先

（公財）千里リサイクルフラザ
吹田市千里万博公園4番3号
電話 06-6877-5300
FAX 06-6876-0530

E-mail

kenkyuu@senri-recycleplaza.or.jp

くるくる環境スクール第2回

「環境にやさしいクッキングを身につけましょう」

市民とお店をエコでつなぐ PT 打越 明美

2019年5月11日(土) 10時より

場所 吹田市男女共同参画センター

内容 環境にやさしいクッキングの講座と調理、試食、後片づけ

協力 大阪ガス㈱

土屋市民研究所所長の挨拶の後、大阪ガス講師により環境と食の講座が始まった。生ゴミを1トン処理するのに4万円から5万円費用がかかり、年間590億トンの水が必要。食物を育てる為の農業用水は640億トンが必要だということを知っておいてほしいと話され、下記の問題についても簡単に触れた後、別室で調理実習が行われた。

＊地球の温暖化問題

＊食とエネルギーの問題

＊地産地消、旬のものとは

受講生他合わせて21名は、エプロン、三角巾を付け実習が始まった。

① ご飯 米は浸水したものを鍋で中火10分、弱火約15分、火を消して約15分むらします。

(＊防災の時に

メニュー

ご飯、味噌汁、ふりかけ、野菜炒め、ピッツアの春巻き

役立つので是非覚えて欲しい。)

②味噌汁 カツオ節(20g)でだしをとり、味噌汁を作ります。具は、油揚げ、シイタケ、青ネギ、大根です。

③ふりかけ だしをとった後のカツオ節に醤油と砂糖で、水分がなくなるまで炒めます。

④野菜炒め キャベツ、たまねぎ、ピーマン、にら、ウインナーを炒めます。

野菜の生ゴミ(ゴミを出さない工夫)は量を競うのです。

P7

⑤ピッツアコーン春巻き

ツナとコーンにチーズを入れてピザソースを合わせ春巻きの皮で巻き、グリルで焼いたら出来上がりです。

私たちのグループには主導してくださる方がいて作るのも、片付けも早くできた。

玉ねぎの皮、椎茸の軸の固いところなどの生ゴミは計量。その他のゴミは、材料を包んでいたラップとフライパンを拭いた布切れでした。

メンバー(男性5名、女性1名)に質問。

料理はしますか？

- ・ 1回料理を作ったが、妻に文句を言われ、台所に入らないように言われた。
- ・ 単身赴任歴10年、朝食と昼食は私の担当です。
- ・ 後片付けだけをしている。
- ・ 料理をしないと、一人になったら生活がなくなる。「死んでしまうのだよ」
- ・ 結婚当初から料理はシェアしている。
- ・ 今日の料理を帰ったら妻に報告する。



食材は旬の物を丸ごと使いきる。節水を心がけて調理する。食べる分だけ皿に取り、そして残さず食べる。環境を考え、ゴミを出さない料理を工夫する。

目からうろこの講座でした。

くるくる環境スクール第3回

「自然と触れ合いましょう」

エコイベントPT 石川 智子

雲一つない好天に恵まれた5月25日（土）環境スクール生の皆様と一緒に、川西市黒川地区の里山へ自然を体験しに行ってきました。

受講生12名、市民研究員3名、プラザ事務局4名、合計19名の参加です。

プラザを出発したバスは最初に吹田市立西山田小学校で「ビオトープ」を見学しました。この「ビオトープ」は事務局の下村さんが教員在職中に、児童の環境学習の為に手がけられたとても可愛い癒しの空間でした。ただ、水の流れは落ち葉の堆積でヘドロとなり、今年はヘドロ除去のために水が抜かれていて、メダカの泳ぐ姿を見ることが出来なかったのはちょっとざんねんに思いました。ヘドロが無くなって又綺麗な水が流れるようになったら来年の春にはメダカの学校がみられるでしょうか？



西山田小ビオトープ

さあ、いよいよ本物の里山体験です。箕面有料道路が出来たお陰で吹田から30分もあれば到着です。バスを降りると鶯の声の大歓迎をうけ、ああ里山に来たんだとワクワクしました。黒川地区でただ一軒、今も炭焼きを続けて居られる今西学さんとお会いできると期待したのですが、田植え前の一番忙しい時期であり、残念ながら今西さんにお会いすることは出来ませんでした。豊能町職員の小嶋 均さんが「わたしの専門ではありませんが？」とおっしゃりながらも炭焼き窯に案内してくださいました。想像以上に大きくて立派な炭焼き窯でした。

この地域の炭は池田炭と呼ばれ、最上級の炭で

茶道に使われる炭だそうです。そこで焼かれた見事な菊炭が見学者用に置いてあり、買い求められた方もありました。この炭の原料は上質の硬いクヌギで、親の「台場クヌギ」から7～8年経って径15cm位になったものが使われているそうです。



炭焼き窯

炭焼き窯を後にして、明治時代に建てられた旧黒川小学校を訪ねました。今は黒川公民館として使われていて、この日も親子連れの地域の人たちが集まって楽しんでおられました。

此处で全員の記念写真、お天気は申し分なかったのですが歩くのにはチョット暑かったかな？



黒川公民館

受講生の皆様は本当に熱心にお話に耳を傾けられ、質問をされ今回の自然観察を満足されたようでした。

黒川地区は日本一の里山と称される地域で、田畑もあり集落も点在しており、その周りは山で囲まれておりと昔の環境が今も維持されていてそこに居るだけで癒される環境だと感じました。集落の歴史等お話はたくさん聞きましたが、出来れば小さな生き物や植物の観察等が出来ればよかったかなと感じました。

くるくるエコキッズフェスタに参加

手作りおもちゃと環境 PT 仲倉 弘文

4月28日(日) くるくるプラザにて「くるくるエコキッズフェスタ」が開催されました。

会場ではいつもの「フリーマーケット」と、くるくる体験が行える「布こもの体験」、「木工体験」、「陶芸絵付け体験」、「ガラス工芸体験」、「紙すき体験」と「手づくりおもちゃ体験」の6体験イベントが開催されました。

他に「かえっこバザール」と「木育コーナー」と「原始力(人力)発電」、「おもちゃ病院」も参加し、さらに軽食販売・ショッピングエリア(レンタルフリマ・くるくるグッズ販売・くつろぎコーナー・小さなコンビニ)等、多彩な多彩な取組みにより楽しんでもらうフェスタに設定されていました。

“手づくりおもちゃと環境PT”はおもちゃ作りを通してリサイクルを意識してもらうことを目的にしています。そして体験してもらうすべてのおもちゃを、同時に多くの子どもが参加しても簡単に作れるよう準備に工夫を凝らしています。

今回の「鯉のぼり風車」は3時間の予定で30組限定としたためチケットの引き渡しは1時間前に終了してしまいました。

今回の手作りおもちゃ体験に参加してくれた子どもは小学校に上がる前の子どもがほとんどで、中には2歳のお子さんもありました。



本当は、自分で考えながらモノづくりの楽しさを体験すると共に、再利用していることの意味を理解してもらう意図もあるのですが、まずは喜ん

でもらえば一歩前進と考えています。

「鯉のぼり風車」は、自分で色付けをした紙を風車に組み立て、3匹の鯉を竹串に取付け完成させます。風車は風で軽く回り、鯉は風で風見鶏のごとく風向きになびいてくれます。

子どもは“動く”おもちゃは大変喜んでくれます。おもちゃが完成すると息を吹きかけたり、振り回したりした後、「鯉のぼり風車」を前方に向け広場を元気に走り回ります。完成した時の“嬉しそうな笑み”、“ありがとう”という挨拶、これらがPTメンバーの喜びであり、やりがいです。

今回のフェスタは“キッズ”に焦点を当てたものであり、“手づくりおもちゃと環境PT”にとってはまずキッズに“喜んでもらう”ことを大切に、楽しい思い出を“記憶に残す”ことにより、くるくるプラザに来たことを思い出し、「くるくるプラザ」は何をすることであったかを後々思い起こしてもらいきっかけづくりを担っていることを肝に銘じて取り組んでいます。



PTで定期的に行っている小学校4年生の学習支援の際、リサイクルについて聞くとほとんどの児童が理解しています。手作りおもちゃPTは牛乳パックの再利用を中心に“環境配慮(リサイクル)”について紹介していますが、廃棄してしまいそうな牛乳パックを利用して新たな価値を作り出し、さらに楽しさを与えることにより、その環境配慮の考え方を記憶にとどめさせることが大事だと考え日々活動を行っています。

こんな活動をみなさまも我々と一緒にやりませんか。お待ちしております！

市 民 研 究 所 7 月 の 予 定

日 曜	催 し	時間・場所	備考
1 月	休館日		
	環境学習支援(万華鏡<短>)	14:50～15:50 豊津第一小学校	手作りおもちゃと 境PT
	環境学習支援(水の話)	14:40～15:25 千里第一小学校	エコ体験PT
2 火			
3 水	出前講座(風呂敷講座) はばたこう塾	14:00～15:00 ニュータウンプラザ	市民とお店PT
4 木			
5 金	環境学習支援(万華鏡<短>)	14:15～15:15 東山田小学校	手作りおもちゃと 境PT
6 土	第4回代表者会議 ニュース編集企画会議	13:15～14:45 プラザ講義室1	主担・代表者・ 事務局
7 日	エコイベントPT定例会	10:00～12:00 プラザ研究室	エコイベントPT
	手作りおもちゃと環境PT定例会	13:00～ プラザ研究室	手作りおもちゃと 環境PT
8 月	休館日		
	環境学習支援	14:45～15:45 千里第二小学校	山崎製パン(株)
	環境学習支援(水の話)	14:40～15:25 高野台小学校	エコ体験PT
	環境学習支援	14:35～15:35 藤白台小学校	市民とお店PT
	市民とお店PT定例会	10:00～ 夢つながり館	市民とお店PT
9 火			
10 水	環境学習支援	13:30～14:30 千里丘北小学校	市民とお店PT
11 木	くるくる環境スクール⑤	10:00～14:00 ダスキン見学	「企業の環境努力をもつ と知りましょう」
12 金	くるくる環境スクールスタッフ会議	13:30～ プラザ研究室	環境スクールスタッフ・事 務局
	チームX定例会	10:30～ プラザ研究室	チームX
13 土	環境学習支援(施設見学後)	11:00～12:00 プラザ講義室2	手作りおもちゃと 境PT
14 日			
15 月	海の日		
16 火	振替休日		
17 水	環境学習支援(エコゲーム)	13:30～14:30 佐井寺小学校	エコ体験PT
18 木			
19 金	ごみゼロウォーク事務局会	13:30～15:00 プラザ講義室1	事務局
20 土	夏休み施設見学会 10:00～12:20 破砕選別工場 くるくるプラザ工房見学と紙すき体験(無料)※要申し込み		
21 日			
22 月	休館日		
23 火			
24 水			
25 木			
26 金	ごみゼロウォーク実行委員会	13:30～15:00 プラザ講義室2	実行委員・事務局
	出前講座(万華鏡<生>)	13:30～15:00 吹一公民館	手作りおもちゃと 環境PT
27 土	夏休み施設見学会 10:00～12:20 資源循環エネルギーセンター くるくるプラザ工房見学と紙すき体験(無料)※要申し込み		
28 日			
29 月	休館日		
30 火			
31 水			

は、資源リサイクルセンター(くるくるプラザ)の休館日です。●は、一般の方も参加できます。詳しくはプラザまで。

※予定は、変更する場合があります。

市 民 研 究 所 8 月 の 予 定

日 曜	催 し	時間・場所	備考
1 木			
2 金	吹田まつり	千里南公園 江坂公園	エコイベントPT
3 土	第5回代表者会	13:15～14:45 プラザ講義室1	主担・代表者・ 事務局
4 日	くるくる夏フェスタ 10:00～14:00 くるくるプラザ広場		
5 月	休館日		
6 火			
7 水	夏休み親子見学バスツアー 9:00～16:00 グリコピア神戸、兵庫県立人と自然博物館		
	出前講座(風呂敷講座) はばたこう塾	14:00～15:00 ニュータウンプラザ	市民とお店PT
8 木			
9 金			
10 土	くるくる環境スクール⑥	10:00～14:30 プラザ会議室	市民研究所 PT体験①
11 日	山の日		
12 月	休館日		
13 火			
14 水			
15 木			
16 金			
17 土			
18 日			
19 月	休館日		
20 火			
21 水			
22 木			
23 金			
24 土	くるくる環境スクール⑦	10:00～14:30 プラザ会議室	市民研究所 PT体験②
25 日			
26 月	休館日		
27 火			
28 水			
29 木			
30 金			
31 土			

